

第1号議案

平成30年度事業報告

1. 定時総会

平成30年5月15日(火)静岡市内のクーポール会館において定時総会を開催し、下記の議案を審議し可決した。会員総数62名中、出席者49名、外委任状11名、欠席2名

[議案]

- (1) 平成29年度事業報告
- (2) 平成29年度収支計算書及び監査報告について
収支計算書、貸借対照表、財務諸表に対する注記、正味財産増減計算書
財産目録、監査報告書
- (3) 平成30年度事業計画(案)について
- (4) 平成30年度収支予算書(案)について
付帯決議(案)

2. 理事会

理事会を12回開催して、協会の運営並びに事業活動等について審議した。

(4月18日、5月15日(役員改選のため2回開催)、6月18日、7月20日、9月21日、10月17日、11月6日・30日、平成31年1月18日、2月22日及び3月19日)

3. 監査

平成30年4月18日(水)協会会議室において、吉田英司監事、鍋田昌吾監事が平成29年度の会計及び業務の監査を実施した。監査には、杉山博会長、藤山義修副会長(会計担当)が立ち会った。

監査結果は、「収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録」は会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況及び財政状況を正しく示していること、及び事業報告書の内容は適正であることが認められた。

この監査結果については、平成30年5月15日開催の定時総会で報告された。

4. 入会及び退会者

入会者（賛助会員） 2 社

（株）豊富（静岡市葵区安東 3 丁目 19-11-2） 平成 30 年 8 月 1 日入会

（株）サーベック（浜松市中区上島 1 丁目 11-28） 平成 30 年 9 月 21 日入会

退会者（正会員） 2 社

（株）坪井工務所（富士宮市星山 85-233） 平成 31 年 3 月 31 日退会

協和コンサルタント（株）（伊豆の国市三福 111-1） //

（平成 31 年 4 月 1 日現在 正会員 60 社 賛助会員 3 社 計 63 社）

5. 要望活動等

- （1）平成 30 年 6 月 11 日（月） 正副会長・専務理事は、静岡県副知事・交通基盤部長や関係部局に「静測協会員名簿（平成 30 年 5 月現在）」を配布し、挨拶を行った。
- （2）平成 30 年 8 月 2 日（木） （一社）静岡県測量設計業協会（正副会長・専務理事）、（一社）静岡県建設コンサルタント協会、（一社）静岡県地質調査業協会の 3 団体と国土交通省中部地方整備局県内事務所は、意見交換会を中島屋グランドホテルで行った。
- （3）平成 30 年 11 月 6 日（火） 正副会長・専務理事と企画委員会は、静岡県交通基盤部関係者との意見交換会を県産業経済会館で開催した。
- （4）平成 31 年 1 月 8 日（火） （一社）静岡県測量設計業協会（正副会長・専務理事）、（一社）静岡県建設コンサルタント協会、（一社）日本補償コンサルタント協会中部支部静岡県部会、（一社）静岡県地質調査業協会、の 4 団体が、静岡県知事・副知事へ年始の挨拶を行い、その後、協会として交通基盤部長や関係部局に機関誌「静測協 2019 新年号」を配布し、新年の挨拶を行った。
- （5）平成 31 年 2 月 6 日（水） 全測連中部地区協議会（正副会長・専務理事）は、中部地方整備局企画部と意見交換会をウィルあいちで開催した。

6. 総務委員会

- （1）清水港 120 周年記念事業実行委員会幹事の就任
平成 30 年 6 月 20 日実行委員会から就任依頼があり、藤山会長が就任するが地元である会員の代理出席とした。
- （2）浜松市沿岸部は地域特有の砂丘景観があり、観光資源でもある「砂地」と貴重種の生息環境を維持するため、社会貢献の一環として中田島砂丘除草作業を平成 30 年 7 月 23 日に行った。

(3) 元会長 根本健氏 旭日雙光章受章祝賀会の開催

平成 30 年秋の叙勲受章者として根本健氏が旭日雙光章（専門工事業振興功勞）に決まり、平成 31 年 1 月 31 日（木）ホテルセンチュリー静岡 4 階クリスタルルームにおいて祝賀会を開催し、99 名の参加者（本人、来賓 18 名、会員及び関係者 78 名、賛助会員 2 名）により盛大に行われた。

7. 広報・経営改善委員会

(1) 「測量の日」中部地区連絡協議会

「測量の日」中部地区連絡協議会は、日本測量協会中部支部長、全測連・中部地区協議会長、国土地理院中部地方測量部長、国土交通省中部地方整備局企画部技術調整管理官、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、名古屋市の行政機関、岐阜県測協、静岡県測協、愛知県測協、三重県測協、東海工業専門学校金山校の 14 機関で構成されている。当協会から副委員長として会長、実行委員として広報・経営改善会委員長及び事務局長が参加している。

平成 30 年 12 月 11 日（火）実行委員会

愛測協会議室 小澤広報・経営改善委員長 出席

(2) 「測量の日」中部地区連絡協議会記念行事「測量の日」記念講演会開催

4 県測協の持ち回りと国土地理院中部地方測量部の隔年開催で実施しており、当番県の当協会はおよそ 1 年前から準備を行い、実行委員会を立ち上げて開催した。

日 時 平成 30 年 6 月 6 日（水）12 時 30 分～16 時 50 分

会 場 静岡県男女参画センター「あざれあ」大ホールにて講演会及び小ホールにおいて伊能図と地震関係パネル展を開催（12 時～16 時 50 分）

参加者 219 名（行政 53 名、学校 4 名、会員等 162 名）

講演 1 「減災から防災社会へ」

静岡大学防災総合センター長 教授 岩田孝仁 氏

講演 2 「女性技術者を増やそう！ードボジョ、ソクジョの働き方」

鹿島建設(株)土木管理本部土木企画部

ダイバーシティ推進担当部長 須田久美子 氏

(3) 「地図教室」（小学校 4 年生以上を対象）

国土地理院中部地方測量部の担当官がプロジェクターを使って講演を行い、地図の読み方や測量の役割を説明した。（講話）

次に、協会役員と会員の測量士らと共に、児童は 10 メートル歩いた歩数から自分の歩幅を割り出した後、ひみつの道で自分が歩いた歩数と歩幅から距離を

計算する問題に取り組んだ。その後、測量機器を使った計測を行い、正確な距離との比較を学んだ。(測量体験学習)

静測協では、下記の小学校において、広報・経営改善委員会及び地元協会員が中心になり「地図教室」を開催した。

「地図教室」

学 校 名	所 在 地	児 童 数	開 催 月 日
富士市立天間小学校	富士市天間 50 番地	6 年生 56 名	6 月 14 日
島田市立大津小学校	島田市落合 160-1	4 年生 57 名	6 月 21 日
森町立森中学校	森町天宮 888-1	2 年生 56 名	9 月 18 日

(4) 6月3日の「測量の日」は、測量の意義と重要性について国民に理解と関心を一層高めることを目的に、平成元年に制定されたもので、30回目を迎えた。平成30年6月1日(金)の建通新聞に「6月3日は『測量の日』」の広告を掲載し、「測量の日」を機会に、国民に新しい時代の測量・地図の意義と重要性について、一層の理解を訴えた。

(5) 平成30年度社長研修会の開催

月 日 平成30年10月17日(水)～18日(木)

場 所 伊豆 修善寺温泉「桂川」(伊豆市修善寺 860)

講 演 「静岡県東部・伊豆地域におけるインフラ整備」

講師 国土交通省中部地方整備局

沼津河川国道事務所長 藤井 和久 様

参加者 34名

(6) 発注機関等への啓発活動

① 平成30年度会員名簿1,700部を発行し、平成30年6月に会長・副会長・東部・中部・西部の各支部の会員により、県内発注機関(国土交通省及び農林水産省等の出先事務所、県庁及び出先事務所、市町等)に会員への指名方要望に併せて配布した。

② 「6月3日は測量の日」の啓発のために、建通新聞に協会名入り広告を掲載(平成30年6月1日)して、協会のPRをした。

③ 建通新聞に協会名と全会員の社名入り年賀広告を掲載(平成31年1月1日)して、協会及び会員・賛助会員のPRをした。

④ 機関誌「静測協2019新年号」を1,100部発行し、平成31年1月に会員の協力により、県内発注機関、一部の学校及び各都道府県測量設計業協会等に配布して、協会活動の紹介を通じて、業界及び協会の啓発を図った。

⑤ 全測連の機関誌「全測連2019」（200部・年1回）を平成31年2月に会員及び発注機関に配布した。

(7) ホームページの管理

協会のホームページを通して、広報を行った。最新の情報を掲載するように努めた。

8. 企画委員会

(1) 静岡県交通基盤部関係者との意見交換会の実施

日時 平成30年11月6日(火) 9:30~11:30

場所 静岡県産業経済会館 3階 第1会議室

出席者 静岡県交通基盤部建設業課長、建設技術企画課長、工事検査課長、道路整備課長、港湾整備課長、公共用地課班長、都市計画課班長ほか関係職員(計15名)

(一社) 静岡県測量設計業協会 藤山会長、鈴木副会長、山村副会長、宮島副会長、近藤理事(企画委員会委員長)、小澤委員、服部委員、木俣委員代理(鈴木氏)、望月事務局長(計9名)

平成31年3月、意見交換会の記録を会員にメールでお知らせした。

(2) 中部地方整備局との意見交換会のテーマ(意見・要望)を6月に取りまとめ、全測連・中部地区協議会へ提出した。

(3) 静岡県経済産業部就業支援局雇用推進課の平成30年度産業人材確保緊急対策事業(県費補助10割)による「測量・設計業の魅力とやりがいを発信するパンフレットと動画」(事業費2,970,000円)を作成し、平成31年3月中に会員にパンフレットを配布し、動画は静岡県交通基盤部の「静岡どぼくらぶ」と連携を図った。

9. 技術委員会

(1) 技術講習会

日時 平成30年9月28日(金) 13:00~16:40

場所 静岡県静岡労政会館5階視聴覚室

テーマ及び講師

「ドローンで取得できた画像処理・点群処理 3Dスキャナー(レーザー測量)業務について」 (株)豊富 松浦 真悟

「小型軽量・高精度なドローン搭載専用レーザーメジャーシステム

(写真測量が主流だったドローン測量が大きく変わります。)」

(株) アミューズワンセルフ 佐川 孝

「I-Construction レーザー測量で取得したデータを3D表現、
土量計算・災害調査や建設・土木などに活用」

(株) ビーシステム 石上 一也

参加者 61 名

(2) 地理空間情報産学官中部地区連携協議会に参画

地理空間情報産学官中部地区連携協議会の構成は、産業界から（公社）日本測量協会中部支部、（一社）全測連中部地区協議会及び4県の（一社）測量設計業協会、学界から名古屋大学、岐阜大学及び中部大学、官から国土交通省中部地方整備局企画部、国土地理院中部地方測量部、愛知県他3県4市等、事務局は国土地理院中部地方測量部である。

産学官が連携して取り組むべき課題、これに関連する学術、産業、技術・研究開発の動向等に関する意見交換及び情報提供等を行うため開催しており、平成30年度は産官の「協定書について」行うことにした。

平成31年2月6日 名古屋のウィルあいちで開催され、亀谷技術委員長、
松井災害対策委員長が出席した。

(3) 静岡県CALS/EC推進協議会に参画

静岡県CALS/EC推進協議会会長は静岡県交通基盤部長、副会長は（一社）静岡県建設業協会会長である。当協会は委員として会長、専門部会委員として技術委員長、作業部会委員として技術委員の3名が参画している。また、i-Construction に取り組むため専門部会を母体に設置された情報化施工推進WGと平成28年12月22日に設立された「ふじのくに ICT 活用工事支援協議会」には、当協会から技術委員長、技術委員が参加している。

なお、「ふじのくに ICT 活用工事支援協議会」は、平成29年7月19日に「ふじのくに i-Construction 推進支援協議会」に改称され、現在、当協会からは亀谷技術委員長、深民技術委員、倉田特別委員の3名が参画している。

平成30年8月23日（木） 平成30年度 ICT 活用業務の試行
監督検査における ICT 活用等

平成31年3月13日（水） 平成30年度 ICT 活用工事の実施状況等
情報共有システムの導入
舗装補修工事における ICT 活用
スマートガーデンカントリー“ふじのくに”モデル事業

(4) 静岡市CALS/EC推進協議会に参画

静岡市CALS/EC推進協議会会長は静岡市建設局土木部長、副会長は静岡市建設局道路部長、（一社）静岡建設業協会会長、（一社）清水建設業協会会長である。当協会は委員として会長、専門部会委員として企画委員が参画している。

なお、平成24年3月5日(月)開催以降開かれていないが、市としては存続しているとのこと。

10. 調査委員会

(1) 「土木積算S・E」事業

① 「土木積算S・E」資格更新講習会

日 時 平成30年7月13日(金) 13:30~17:00

場 所 静岡労政会館 6階ホール

講習内容

(ア) 土木工事標準積算基準について

(イ) 土木設計積算システムについて

講 師 静岡県交通基盤部 建設技術企画課職員2名

(ウ) 「施工パッケージ型積算の解説」～最終適用対応～

講 師 (一財)経済調査会 経済研究所 室長 中原 敏晴 様

講習修了者 215名

② 「土木積算S・E選定」前期講習会

日 時 平成30年8月28日(水) 10:00~15:10

場 所 静岡県男女共同参画センター あざれあ 4階第1研修室

講習内容

(ア) 土木工事の積算について

(イ) 土木積算システム及び設計書作成方法について

講 師 静岡県交通基盤部 建設技術企画課職員2名

講習申込者 58名、前期講習修了者 57名

③ 「土木積算S・E選定」後期講習会・修了試験

日 時 平成30年10月19日(金) : 9:50~15:30

場 所 静岡県男女共同参画センター あざれあ 4階第1研修室

講習内容

(ア) 土木工事の積算について

(イ) 土木積算システム及び設計書作成方法について

(ウ) 筆記試験

講 師 静岡県交通基盤部 建設技術企画課職員2名

全講習修了者 56名・受験者 56名・合格者 52名

(2) 静岡県建設事務総合システムの利用許諾を前提に、協会は市町と「土木積算S・E選定要領に関する覚書」を締結している。

締結済みは、御前崎市長、袋井市長、浜松市長、掛川市長、森町長、菊川市

富士宮市長、藤枝市長、焼津市長、松崎町長、島田市長の 11 市町である。これにより、静岡県土木設計積算システム（SMILES-ASP）を利用して、電算帳票作成業務を「土木積算 S・E 資格者」が在職する測量設計業者に委託することができる。

なお、静岡市が静岡県との「静岡県土木事務総合電算システムの利用に関する覚書」を解除したことにともない、協会は静岡市長と締結済みであった「土木積算 S・E 選定要領に関する覚書」を平成 25 年 3 月 1 日に解除した。

(3) 業際問題担当者会議（全測連）の開催

日 時 平成 30 年 8 月 29 日（水）13：30～16：30

場 所 測量年金会館 6 階 特別会議室

議 題 各県の状況（用地測量調査アンケートによる）と意見交換

参加者 鈴木調査委員長

1 1. 災害対策委員会

(1) 災害復旧事業技術研修会の開催

災害復旧の測量・設計業務を直接担当する技術者を対象に、（一社）静岡県建設コンサルタント協会と共催した。

日 時 平成 30 年 9 月 19 日（水）13：30～16：50

場 所 静岡県産業経済会館 3 階 大会議室

講 師 静岡県交通基盤部土木防災課・河川企画課及び道路保全課職員

参加者 110 名

(2) 静岡県及び県内市町等との「災害時における測量設計等業務委託に関する協定」について

災害協定の目的は、災害応急復旧工事に必要な測量設計等業務を迅速に実施することにより、公共土木施設等の機能の確保又は回復を図ることである。

静岡県交通基盤部、経済産業部 7 農林事務所（治山、森林、農地）及び浜松市、静岡市、川根本町、藤枝市、島田市、焼津市、吉田町、三島市、伊豆の国市、小山町、掛川市、菊川市、牧之原市、河津町、富士市、清水町、森町、沼津市、磐田市、西伊豆町、袋井市、湖西市、富士宮市、南伊豆町、東伊豆町、松崎町、長泉町、下田市、静岡県道路公社及び静岡県教育委員会と「災害時における測量設計等業務委託に関する協定書」（以下「災害協定書」という。）を締結している。災害協定締結市町は、県下 35 市町のうち 28 市町となっている。

[これまでの経過]

① 平成 17 年 3 月 30・31 日静岡県建設部の 13 事務所長と災害協定書を締結した。

② 平成 17 年 11 月 22 日焼津漁港管理事務所長と災害協定書を締結した。

③ 平成 18 年 12 月 20 日浜松市長と災害協定書を締結した。

- ④ 平成 19 年 3 月 13 日 静岡市長と災害協定書を締結した。
- ⑤ 平成 21 年 5 月 25 日 静岡空港管理事務所長と災害協定書を締結した。
- ⑥ 平成 21 年 7 月 1 日～16 日の間に静岡県建設部の 13 事務所長（土木関係）と災害協定書及び実施細目の変更協定書を締結した。

主な変更箇所は、様式第 2 号（技術者総括表）である。

- ⑦ 平成 21 年 8 月 19 日～8 月 31 日の間に、静岡県経済産業部の出先 7 農林事務所（治山・森林関係）と災害協定書を締結した。
- ⑧ 平成 21 年 11 月 1 日 川根本町長と災害協定書を締結した。
- ⑨ 平成 21 年 11 月 30 日 藤枝市長と災害協定書を締結した。
- ⑩ 平成 21 年 12 月 25 日 島田市長と災害協定書を締結した。
- ⑪ 平成 22 年 1 月 8 日 焼津市長と災害協定書を締結した。
- ⑫ 平成 22 年 2 月 8 日 吉田町長と災害協定書を締結した。
- ⑬ 平成 23 年 4 月 1 日 三島市長と災害協定書を締結した。
- ⑭ 平成 23 年 6 月 1 日 伊豆の国市長と災害協定書を締結した。
- ⑮ 平成 23 年 11 月 25 日 小山町長と災害協定書を締結した。
- ⑯ 平成 24 年 1 月 13 日 掛川市長と災害協定書を締結した。
- ⑰ 平成 24 年 1 月 19 日 菊川市長と災害協定書を締結した。
- ⑱ 平成 24 年 7 月 18 日 静岡県交通基盤部長と災害協定書を締結した。

この締結にともない、①②⑤との協定を廃止した。

- ⑲ 平成 24 年 9 月 25 日 牧之原市長と災害協定書を締結した。
- ⑳ 平成 24 年 11 月 5 日 河津町長と災害協定書を締結した。
- ㉑ 平成 25 年 12 月 12 日 富士市長と災害協定書を締結した。
- ㉒ 平成 25 年 12 月 20 日 清水町長と災害協定書を締結した。
- ㉓ 平成 26 年 3 月 4 日 森町長と災害協定書を締結した。
- ㉔ 平成 26 年 3 月 24 日 沼津市長と災害協定書を締結した。
- ㉕ 平成 26 年 7 月 24 日 磐田市長と災害協定書を締結した。
- ㉖ 平成 26 年 8 月 4 日 西伊豆町長と災害協定書を締結した。
- ㉗ 平成 26 年 8 月 22 日 静岡県道路公社と災害協定書を締結した。
- ㉘ 平成 26 年 9 月 30 日 袋井市長と災害協定書を締結した。
- ㉙ 平成 27 年 1 月 19 日 湖西市長と災害協定書を締結した。
- ㉚ 平成 27 年 7 月 16 日 富士宮市長と災害協定書を締結した。
- ㉛ 平成 28 年 8 月 24 日 南伊豆町長と災害協定書を締結した。
- ㉜ 平成 30 年 3 月 28 日 静岡県経済産業部の 7 農林事務所長（山地災害・治山施設等の災害・農地農業用施設災害）と災害協定書を締結した。この締結にともない、上記③の災害協定書を廃止した。
- ㉝ 平成 30 年 3 月 29 日 静岡県教育委員会教育長と災害協定書を締結した。
- ㉞ 平成 30 年 6 月 22 日 東伊豆町長と災害協定書を締結した。
- ㉟ 平成 30 年 12 月 19 日 松崎町長と災害協定書を締結した。
- ㊱ 平成 31 年 1 月 16 日 長泉町長と災害協定書を締結した。
- ㊲ 平成 31 年 3 月 8 日 下田市長と災害協定書を締結した。

なお、協定書締結に伴い協定締結先に「協力者名簿」を提出している。

また、協定書は当協会のホームページに掲載されている。

（3）遠隔地の他県測協との「広域災害時相互応援に関する協定」について

東日本大震災の教訓から、南海トラフ大地震等広域災害発生時に不足する測量

設計技術者を確保するため、同時被災のリスクが少ない静岡県と熊本県の測協間の災害協定を締結するように、静岡県と熊本県のご指導を受け、平成 26 年 7 月 31 日に両県立会いの下、(一社) 熊本県測量設計コンサルタンツ協会と「災害時相互応援協定」を締結した。

同様な主旨から、平成 28 年 8 月 3 日には、静岡県と鹿児島県立会いの下、静岡県庁にて(公社) 鹿児島県測量設計業協会と「災害時相互応援協定」を締結した。平成 30 年 11 月 19・20 日に、「静岡県・熊本県・鹿児島県 3 県測協による広域災害時相互応援に関する意見交換会」を鹿児島県測協が開催し、当協会から藤山会長、山村副会長及び松井対策委員長が出席した。

(4) 災害時応援協定締結事業者研修会等

- ① 富士宮市災害時応援協定・ライフライン防災連絡会の参加
日 時 平成 30 年 6 月 28 日 (木) 13:30~14:30
会 場 富士宮市役所庁舎 7 階 710 会議室
参加者 松井災害対策委員長
- ② 富士宮市情報伝達訓練
日 時 平成 30 年 7 月 5 日 (木)
協力者 東海技術開発 (株)
- ③ 静岡県交通基盤部 13 出先機関との出動要請・応諾訓練
日 時 平成 30 年 8 月 20 日~9 月 14 日の間
協力者 会員 59 社
- ④ 県東部農林事務所との地震対策大規模図上訓練メール送受信訓練
日 時 平成 31 年 1 月 17 日 (木)
協力者 東海技術開発 (株)
- ⑤ 掛川市災害時応援協定締結事業者連絡会の参加
日 時 平成 31 年 2 月 1 日 (金) 10:00~11:30
会 場 掛川市役所 4 階 会議室 1
参加者 松井災害対策委員長
- ⑥ 県危機管理部による災害時応援協定締結事業者との研修・情報交換会が開催され、当協会員が出席した。
日 時 平成 31 年 3 月 6 日 (水) 14:00~16:30
会 場 静岡県男女共同参画センター あざれあ 大ホール
参加者 当協会員 30 名

(5) BCP (事業継続計画) 研修会

協会事務局では、平成 30 年 11 月 6 日作成した BCP (事業継続計画)

サンプルをワード形式で全会員に配布し、研修会を下記のとおり実施した。

日 時 平成 31 年 2 月 7 日 (木) 15 : 30 ~ 16 : 30

会 場 静岡県男女共同参画センター あざれあ 2 階 大会議室

講 師 静岡県 BCP コンサルティング協同組合理事長 高橋 義久 様

参加者 当協会員等 56 名

(6) 静岡県建設副産物対策連絡協議会への参画

静岡県建設副産物対策連絡協議会長は静岡県交通基盤部長、副会長は交通基盤部理事である。当協会は、委員会に会長、幹事会に災害対策委員長、実務担当者として事務局長が参画している。

1 2. 倫理委員会

(1) 独占禁止法遵守研修会

当協会、(一社) 静岡県建設コンサルタント協会、(一社) 静岡県地質調査業協会の建設関連業 3 団体により共催した。

日 時 平成 31 年 2 月 7 日 (木) 13 : 10 ~ 15 : 20

会 場 静岡県男女共同参画センター あざれあ 2 階 大会議室

講 師 (公財) 公正取引協会 客員研究員 滝 明良 様

研修内容 入札談合と独占禁止法について

(参加者 40 社 56 名) 欠席会員には研修会資料を送付し、法令遵守を喚起した。

(2) 当協会のホームページ及び機関誌新年号に「倫理綱領」を掲載し、会員企業の社員に法令遵守を喚起している。この倫理綱領は、測量設計業に携わる者の基本的なルールであり行動指針であるので、会員企業の執務室に掲示するなど、周知徹底に努めている。

1 3. 積算システム運営委員会

(1) 平成 30 年 7 月 20 日 (金)、協会会議室において、静岡県交通基盤部建設技術企画課の担当者から「SMILES-ASP システムサーバ機器入替対応について」の説明を受け、平成 31 年 1 月の入れ替え作業及び新たなシステムの認証 IC カードの説明会が必要であることからシステム加入者と連絡を取り、10 月に東中西部の 3 会場で開催した。(参加者 90 社 110 名)

(2) 平成 30 年 11 月 6 日 (火)、静岡県交通基盤部建設技術企画課の担当者に出席いただき、協会会議室において第 2 回積算システム運営委員会を開催し、平成 30 年度「土木積算 S・E 選定」修了試験の結果について審議した。

その結果、受験者 56 名中、合格者は 52 名であった。

「土木積算S・E」選定試験の受験者数は、制度創設当初を除けば平成9年度をピークに減少傾向である。平成4年度から平成29年度までの合格者は1,689名であるが、平成31年1月現在「土木積算S・E」資格者として台帳に登録されている者は605名である。(内訳：会員461名、会員外144名)

14. 他団体への講師派遣〈技術委員会担当〉

静岡県建設技術監理センターの依頼により、静岡県土木技術職員研修（測量概論・測量演習）に会員企業から講師を派遣した。

派遣年月日：平成30年5月23日（水）、24日（木）

「採用1年目研修」のうち測量概論・測量演習（実測・計算）

講師を派遣した会員：昭和設計(株)、(株)建設コンサルタントセンター

(株)スルガコンサル、服部エンジニア(株)、(株)ツルタコンサルタント（5社）

15. 他団体等が主催する講習会等への参加

(1) (一社) 静岡県建設コンサルタンツ協会主催の発表会

「第14回技術研究発表会（シビルセミナー）」

日時 平成30年6月22日(金)10:00～17:00

会場 静岡県コンベンションアーツセンター・グランシップ 11階

会議ホール・風

(2) 「第2回 ICT 利活用セミナーin 静岡」

主催 建通新聞社後援ふじのくに i-Construction 推進支援協議会（県）

日時 平成30年6月11日(月)12:00～17:15

会場 静岡県グランシップ 6階交流ホール

(3) 「国土交通省土木工事積算基準の改定概要等説明会」及び

特別講演「公共工事の執行に係わる最近の動向について」

主催 (一財) 建設物価調査会、後援 国土交通省

日時 平成30年6月27日(水)13:30～16:30

会場 静岡県男女参画共同センター あざれあ 6階 大ホール

(4) 「第13回地盤技術講習会」

主催 (一社) 静岡県地質調査業協会

日時 平成30年7月20日(金) 13:30～17:00

会場 静岡市産学交流センター ペガサート 6階 プレゼンルーム

(5) 「第28回奥野ダム一日ダム教室」

主催 静岡県熱海土木事務所 協力 東部支部

- 日 時 平成 30 年 7 月 26 日 (水)
会 場 静岡県伊東市 奥野ダム敷地内 参加者約 250 名
- (6) 「第 2 3 回水シンポジウム 2 0 1 8 in ふじのくに・沼津」
主 催 実行委員会、(公社) 土木工学学会、県、沼津市 **共催 静測協**
日 時 平成 30 年 8 月 23 日 (木)
場 所 プラザ ヴェルデ (沼津市大手町 1-1-1)
- (7) 「平成 3 0 年度大規模山地災害に係る研修会」
主 催 静岡県経済産業部森林・林業局森林保全課
日 時 平成 30 年 9 月 27 日 (木) 10 : 00 ~ 12 : 00
会 場 現地研修 静岡市葵区坂本地内
- (8) 「狩野川台風 6 0 年シンポジウム」
主 催 狩野川台風の記録をつなぐ会
日 時 平成 30 年 9 月 29 日 (土) 13 : 30 ~ 15 : 30
会 場 長岡総合会館アクシスかつらぎ大ホール (伊豆の国市)
- (9) 「測量技術者のためのスキルアップセミナー」
主 催 (公社) 日本測量協会中部支部 **共催 静測協**
日 時 平成 30 年 10 月 12 日 (金) 10 : 00 ~ 16 : 00
会 場 静岡県産業経済会館 大会議室
- (10) 「ジオフォーラム 2 0 1 8 in 静岡」
主 催 (一社) 静岡県地質調査業協会
日 時 平成 30 年 10 月 15 日 (金) 10 : 00 ~ 16 : 15
会 場 静銀 ユーフォニア
- (11) 「平成 3 0 年度第 2 回用地事務職員専門研修会」等の報告・勉強会
主 催 (一社) 日本補償コンサルタント協会静岡県部会
日 時 平成 30 年 10 月 19 日 (金) 13 : 30 ~ 17 : 00
会 場 静岡市 ペガサート 7 階 大会議室
- (12) 「新技術交流イベント 2018 in 静岡」
主 催 ふじのくに i-Construction 推進支援協議会 (県建設技術企画課)
日 時 平成 30 年 10 月 25 日 (金) 10 : 00 ~ 17 : 15
会 場 静岡県 グランシップ 6 階交流ホール・展示ギャラリー
- (13) 「インフラメンテナンス国民会議中部フォーラム第 3 回会議」
主 催 実行委員会、国土交通省中部地方整備局企画部
日 時 平成 30 年 10 月 25 日 (金) 10 : 00 ~ 17 : 15
会 場 静岡県 グランシップ 1001-2 会議室 13 : 30 ~ 16 : 30

- (14) 静岡県交通基盤部等優良業務委託表彰式
 主 催 静岡県土木事務所等、農林事務所（交通基盤部工事検査課）
 日 時 平成30年10月26日（金）13:30～16:30
 会 場 クリエイト浜松2階ホール
- (15) 第22回農地技術研究発表会
 主 催 静岡県産業経済部農地局（農地整備課）
 日 時 平成30年11月7日（水）10:00～16:10
 会 場 静岡県 あざれあ 6階 大ホール
- (16) 静岡県交通基盤部技術発表会（土木技術）
 主 催 静岡県交通基盤部（建設技術企画課）
 日 時 平成30年11月8日（木）10:00～16:30
 会 場 静岡県 あざれあ 6階 大ホール
- (17) 平成30年度 しずおか建設まつり **参加 中部支部**
 主 催 静岡市（技術政策課）・（一社）静岡県建設産業団体連合会
 日 時 平成30年11月10日（土）10:00～16:00
 会 場 清水マリナーパーク（ドリームプラザ海側デッキ）
- (18) 「協働による地域づくり事例発表会」
 主 催 静岡県（県建設技術監理センター）
 日 時 平成31年2月23日（金）13:00～17:00
 会 場 静岡県 グランシップ 1001-2 会議室
- (19) 静岡県第2回災害復旧担当者会議（県市町担当者）
 主 催 静岡県交通基盤部河川砂防局土木防災課
 日 時 平成30年2月6・7日（水・木）、東中西部3会場
 参加者 全体約100名（会員29名）
- (20) 全国街道交流会議第12回全国大会「しずおか大会」
 主 催 「しずおか大会」実行委員会・静岡市
 日 時 平成31年2月15日（金）13:30～18:00
 場 所 静岡県 グランシップ 参加者 10名
- (21) 静岡県危機管理部各地域局主催の防災講演会等
 ① 東部地域局 「正しく知ろう“土砂災害”～人的被害ゼロを目指して～」
 日 時 平成31年2月17日（日）13:00～16:15
 場 所 静岡県総合健康センター（三島市谷田）参加者 4名
 ② 西部地域局「地域を知り防災を考える-最近の豪雨災害事例から学ぶこと」
 日 時 平成31年3月6日（水）14:00～16:00

- 場 所 アクトシティ浜松 コングレスセンター3階 31会議室
- ③ 中部地域局「被災地から学ぶ！水害対策シンポジウム～大規模化する水害、その時どうする？」
- 日 時 平成31年3月7日（木）13:30～16:00
- 場 所 静岡県 あざれあ 大ホール

16. 支部活動

「東部支部」

平成30年

- 4月6日 支部監査・支部理事会 於 プラザヴェルデ
出席者 5名（支部長・副支部長2名・監事2名）
1. 平成29年度会計監査・平成30年度支部総会議案
- 4月21日 支部総会 於 伊豆長岡 かめや恵庵
～22日 出席者 26社、委任状提出5社
1. 平成29年度事業報告
2. 平成29年度収支決算報告書及び監査報告並びに承認
3. 平成30年度事業計画（案）承認
4. 平成30年度収支予算（案）承認
5. 平成30年度支部役員改選（案）承認
- 6月4日 ダム1日教室事前協議 於 奥野ダム管理所
出席者 3名（支部長・副支部長・広報経営改善委員長）
1. 展示内容及び展示ブース等
- 6月14日 地図教室の開催
富士市立天間小学校 参加児童数 6年56名
支部出席者 11名（支部長・広報経営改善委員会・協力会員他）
担当会員 (有)青木測量設計事務所、(株)協和工務店、(株)土屋測量設計
(株)富士測量事務所 以上4社8名対応
- 6月15日 第1回支部役員会 於 プラザヴェルデ
出席者 10名（支部長・副支部長・監事・各委員会委員長）
1. 会員名簿配布
2. 30年度事業計画の予定
- 7月13日 沼津土木事務所長と面談 於 沼津土木事務所 出席者1名（支部長）
1. 全体協議会開催と講師依頼
2. 秋季における意見交換会開催依頼
- 7月25日 奥野ダム1日ダム教室 於 奥野ダム
東部支部役員9名（支部長・副支部長・監事・支部全委員長）
(株)ウインディネットワーク5名、協和コンサルタント(株)・(株)東日から
各2名 計18名
9:30～13:30 測量体験コーナー開催（来場者対応）

ドローン展示(㈱ウインディネットワーク)

- 9月3日 第2回支部役員会 於 ホテル沼津キャッスル
東部支部役員 10名(支部長、副支部長、監事、支部委員長)
東部支部全体協議会及び土木事務所所長講演会
- 9月14日 支部全体協議会 於 みしまプラザホテル 出席者 25社 41名
1. 東部支部全体協議会：支部会員対象の研修会
2. 東部4土木事務所・田子の浦港管理事務所所長講演会

平成 31年

- 1月29日 第3回支部役員会 於 (株)東日会議室 出席者 7名
沼津土木事務所意見交換会議議題取りまとめ
- 2月5日 沼津土木事務所意見交換会 於 東部総合庁舎
出席者 沼津土木事務所 12名、支部役員 10名
- 3月27日 第4回支部役員会 於 プラサヴェルデ 出席者 10名
1. 平成30年度支部活動報告
2. 平成31年度支部定時総会準備

「中部支部」

平成 30年

- 4月12日 中部支部評議委員会 於 クーポール会館 出席者 11名
1. 中部支部総会議案説明
2. 中部支部事業分担(案)について
3. 理事会、委員会報告
- 4月26日 中部支部評議委員会 於 クーポール会館 出席者 11名
1. 平成30年度静岡県土木技術職員研修への講師派遣について
2. 静岡県立科学技術高等学校 インターンシップ受入れについて
- 同日 中部支部総会・懇親会 於 クーポール会館 出席者 15名
1. 平成29年度事業報告(中部支部各部会)
2. 平成29年度収支決算報告及び監査報告
3. 平成30年度事業計画(案)承認
4. 平成30年度事予算(案)承認
- 6月21日 「地図教室」の開催 於 大津小学校
出席者：10名(支部長、広報経営委員、協力会員4社)
- 6月26日 中部支部評議会 於 クーポール会館
出席者：18名(国道事務所5名、地質協会6名)
- 同日 静岡国道事務所との意見交換会 静測協中部支部7名参加
- 7月20日 支部管内「平成30年会員名簿」配布 参加者 2班 13名参加
- 7月31日 清水港開港120周年記念事業実行委員会(第1回)
出席者：1名(小田秀昭委員)
- 8月30日 中部支部評議会 於 クーポール会館、出席者 10名
1. 静岡県土木関係者との意見交換会について
2. 「産業人材確保対策事業」の取材対応者について他

- 9月20日 静岡県土木関係者との意見交換会 於 中島屋グランドホテル
出席者 26名(県 11名、中部支部 15名)
1. 協会から県への要望・質疑
 2. 県から協会への要望他
- 10月5日 清水港開港 120周年記念事業実行委員会 (第2回)
出席者: 1名 (小田秀昭委員)
- 11月10日 しずおか建設まつり出展 於 清水マリンパーク 出席者 7社 20名以上
測量体験ツアー、ドローン操縦体験他
- 12月13日 支部評議委員会 於 クーポール会館 出席者 13名
1. 静測協、全測連等の活動報告
 2. 静測協理事会報告

平成 31 年

- 3月13日 支部評議委員会 於 クーポール会館 出席者 9名
1. 静測協事業報告
 2. 静測協経営者研修会の件
 3. 中部支部社長研修旅行の件

「西部支部」

平成 30 年

- 4月20日 第1回全員協議会 於 呉竹荘 出席者 12名
1. 平成 30 年度通常総会について
 2. 理事会報告
 3. 平成 30 年度静測協総会開催について
 4. 6月6日の「測量の日」開催について
- 同日 第36回通常総会 於 呉竹荘 出席者 12名
1. 平成 29 年度事業報告及び収支決算について
 2. 平成 29 年度研修会特別会計収支決算について
 3. 役員の改選について
 4. 平成 30 年度事業計画案及び収支計算について
 5. 平成 30 年度研修会特別会計事業計画案及び収支予算案について
 6. 小楠県議講演会
懇親会 来賓塩谷国議 (代理)、小楠県議、倉田市議、内田市議
- 6月27日 第2回全員協議会 於 不二総合コンサルタント 5階会議室 出席者 10名
1. 理事会報告
 2. 各委員会報告
 3. 中田島外来生物除去作業実施について 7月23日 (月曜日)
 4. 地図教室の開催について
 5. 交通基盤部との意見交換会開催について
 6. 西部地区県土木事務所との意見交換会について
- 6月29～30日 静測協西部支部研修旅行 房総半島、成田山新勝寺 参加者 12名

- 7月23日 中田島砂丘外来生物除去作業実施
- 8月3日 夏季研修会 ホテルクラウンパレス 出席者 12名
- 9月5日 第3回全員協議会 於 不二総合コンサルタント5階会議室 出席者9名
1. 理事会報告
 2. 静測協新年号会員のページ掲載について
 3. 地図教室開催(9月18日森中学校)について
 4. 国交省及び西部地区県土木事務所との意見交換会について
 5. 冬季研修会について
- 森町立森中学校 参加生徒 2年生 56名
担当会社 (株)技研測量、吉田測量設計(株)、竹内測量設計(株)
(株)共和コンサルタント以上4社8名にて対応
- 12月5日 第4回全員協議会及び冬季研修会 於 湖畔の料理宿あさしお 出席者12名
1. 理事会報告
 2. 各委員会報告
 3. 西部支部活動について
 4. その他

平成31年

- 1月10日 西部支部新年挨拶回り 出席者12名
関係官庁 4グループにて実施 昼食 中川屋
- 2月15日 第5回評議委員会 於 不二総合コンサルタント 5階会議室 出席者11名
1. 理事会報告
 2. 各委員会報告
 3. 今後の行事予定について
 4. 中部地整との意見交換会の結果について
 5. 県西部地区土木事務所・企業局幹部職員との意見交換会
浜松総合庁舎7階会議室
出席者：県土木事務所17名、企業局2名、西部支部協会員12名

17. (一社) 全国測量設計業協会連合会事業

(1) 平成30年度 定時総会

平成30年5月24日(木) 東海大学校友会館(東京都内)において開催され、藤山会長が出席した。

(2) 「平成30年西日本豪雨災害」の義援金のお願い

平成30年8月に2口10万円を支援し、広島・岡山・愛媛県測協から礼状が届く。

(3) 「平成30年北海道胆振東部地震」災害支援金のお願い

平成30年11月に1口3万円を支援し、北海道測協から礼状が届く。

(4) 全国会長会議

平成30年10月10日(水) ANAクラウンプラザホテル広島(広島市)において開催され、藤山会長が出席した。

(5) 全測連全国会長懇談会及び平成31年賀詞交歓会

平成31年1月11日(金) 東海大学校友会館(東京都内)において開催され、藤山会長が出席した。

(6) 経営委員会調査研究部会

藤山会長は、経営委員会調査研究部会に所属した。

平成30年11月27日(火) 調査研究部会に出席した。

平成31年3月11日(月) 経営委員会に出席した。

18. (一社) 全測連中部地区協議会事業

(1) 役員会・会長会議

役員会議が年2回、会長会議が1回開催され、協議会の運営、事業活動及び当面の課題等について協議した。

藤山会長が協議会副会長、鈴木・山村・宮島副会長が協議会幹事として、また、望月事務局長が事務局に就いている。

平成30年7月9日 第1回役員会 アイリス愛知 新旧役員参加

平成31年2月6日 第2回役員会 ウィルあいち 正副会長、望月参加

平成31年3月12日 会長会議 アイリス愛知 藤山会長参加

(2) 中部地方整備局との意見交換会(再掲)

中部地方整備局に対する会員の意見・要望を6月に取り纏め、中部地方整備局との意見交換会を開催した。

中部地方整備局との意見交換会 平成31年2月6日(水) ウィルあいち

意見交換会の記録は、会員にメールでお知らせした。

(3) 中部地方整備局長との災害協定

平成 21 年 4 月中部地区協議会長は、中部地方整備局長と「災害又は事故における中部地方整備局所管施設等の緊急的な応援対策の支援に関する協定書」を締結したが、テックホースとの連携、リエゾン(情報連絡員)による情報共有、協定対象エリアの拡大等を目的として、平成 25 年 3 月 1 日に協定書が改定されている。この協定書に基づく「平成 30 年度災害等援助協力体制表」を中部地方整備局に提出した。

協定書は、当協会のホームページに掲載されています。

(4) 愛知県、岐阜県及び静岡県測量設計業協会長との災害協定

平成 23 年 3 月 23 日 中部地区協議会の 3 県の測量設計業協会長と「災害時における中部地区県測協の応援協力に関する協定」を締結している。

協定書は、当協会のホームページに掲載されています。

(5) 「合同講演会」((公社)日本測量協会中部支部と共催)

日 時 平成 30 年 7 月 9 日(月)

場 所 アイリス愛知(名古屋市)

講 師 国土交通省中部地方整備局企画部 技術調整管理官 山根 孝之様
国土交通省中部地方測量部 部 長 安藤 暁史様

(6) 中部ブロック災害復旧事業講習会((一社)中部地域づくり協会他と共催)

日 時 平成 30 年 11 月 16 日(金) 10:00~16:10

場 所 三重県勤労者福祉会館 6 階 講堂

講 師 (公社)全国防災協会 災害復旧技術専門家

対象者 建設コンサルタント・測量設計会社・行政機関(国、県、市町及び行政機関に準ずる機関・団体含む)等の実務担当者及びその予定者

参加者 97 名

(7) 中部地区用地対策連絡協議会用地職員研修(測量)への会員 14 名講師派遣

日 時 平成 30 年 10 月 30 日(火)~31 日(水)

場 所 名古屋市中区丸の内 大津ビル、名城公園市民の森(測量実習)

参加者 63 名

(8) 中部ブロック災害復旧事業講習会((一社)中部地域づくり協会他と共催)

日 時 平成 30 年 11 月 16 日(金) 10:00~16:10

場 所 三重県勤労者福祉会館 6 階 講堂

講 師 (公社)全国防災協会 災害復旧技術専門家

対象者 建設コンサルタント・測量設計会社・行政機関(国、県、市町及び行政機関に準ずる機関・団体含む)等の実務担当者及びその予定者

参加者 97名

- (9) 「東海四県の測量設計業協会」と「東海工業専門学校金山校」の間における人材確保、人材育成のための連携協力に関する協定について
協定は、測量・土木設計業務に係る分野で連携し、相互の発展と同分野の人材確保、人材育成に寄与することを目的に協定書と覚書が交わされた。
締結日・場所 平成30年12月3日(月) 東海工業専門学校金山校
会員の職員の入学金の減額や、生徒の入職支援が得られる。
- (10) グループ保険の取扱い
会員の従業員の福利厚生のため、グループ保険の取扱いを継続した。

19. (一社) 静岡県建設産業団体連合会事業

- (1) 定時総会
平成30年5月25日(金) ザ・ガーデンシティオ(ホテルシティオ静岡内)において開催され、望月専務理事が代理出席した。
- (2) 建設産業構造改善推進のつどい
平成30年9月14日(金) 静岡市産学交流センター「ペガサート」において開催され、望月専務理事が代理出席した。
静岡県優秀施工者褒状授与式の後、国立大学法人静岡大学 防災総合センター長 岩田孝仁様による講演“減災から防災社会の構築へ”が行われた。
- (3) 「第36回静岡県暴力追放・銃器根絶県民大会 藤枝 安心安全まちづくりの集い」
平成30年10月16日(火) 藤枝市民会館において開催され、奥平委員、望月専務理事が出席した。
- (4) 事務局長会議
平成30年度の建産連事務局長会議は、県への要望案件が無いため、開催されなかった。
- (5) 地域の暮らしを守り、未来を創る。「静岡県建設産業の主張2018」
平成30年11月27日(火) 静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」において開催され、望月専務理事が出席した。
静岡県交通基盤部長縄理事による基調講演後、事例発表・講演が行われた。

20. 慶弔費

死亡弔慰金4件、祝電1件について、内規により対応した。
(内規は、協会のホームページに掲載されています。)